

製作をしていただいたトヨタのデザイナー、牧原大先生からは「エアロは搬入日当日に会場で付けるしかないなあ」と、言われてたもんだから、もうドッキドキもん。実物がどーなるか一度も見てなかったからね、そりゃ不安にもなるっでもんよ。

みんなにスーブラのデザイン画を描いてもらったのが昨年6月。で、オイラのスーブラ企画がスタートしたのが8月なわけだけど、その間、編C長のヨッチがいろいろと各方面に調整をし、やっとのことでこのエアロパーツも製作にかかったわけでしょう？ いわば、オレ連OP Tとみんなの夢がここに実現したわけじゃん。これってなにげにスゴイことだよ。だって、デザイナーでもチューナーでもないフツツのみんなが描いた絵がモノホンのパーツになっちゃうんだぜ。こいつはグレートってもんだよ。

で、今回、そのグレートなデザイン画を描いてくれたのが大阪府の葦原浩史くん(21)だ。クルマのデザイン画なんて一度も描いたことなくて、今回初めての挑戦だったんですよ。まさか自分の描いた絵が本物のパーツになるなんて思ってもみなかったから」と、驚きを隠せない様子。

But、もつとラッキーなことにおとサロンの2日目、1月8日に大阪からご招待。そしてポッキー牧原大先生から大賞受賞の表彰と、副賞のナ、ナ、ナント10万円の旅行券をプレゼントされてしまったのだ。いい絵を描いてくれてありがとう。ラフな絵やけどセンスは抜群や。支人でもあはいかんで」と、ポッキーに誉められ、ちよつと恐縮気味の葦原浩史くん「どんな風になったのかな？ っと思ってたんだけど、実物は予想以上にカッコ良くて驚きました。すつこくウレシイです」と、ニコニコ。

ウーン、良かった良かった。トヨタ純正のサイドスカートとのマッチングもバッチリで、スタイルもキマったって感じだよな。ここまできればあとは足まわり

「エアロパーツの装着が難しいから、チューナーの反応がなかなかあるんだ。」



をキメて、上がり気味の油温の問題を解消すればクルマもほぼ出来上がりってところまで来た。借金の山は増えていくばかりだけど、日に日にスーブラちゃんが増えて、カッコ良くなっていく姿を見てはニタニタしているオイラなのであった。P.S. オートサロン搬入日という忙しい中、オイラのクルマにフロント&リヤスポを取り付けてくれたトリアルの様さん、本当にありがとうございました。また、大阪に遊びに行きますんでその時はよろしく願います。

実物とご対面した葦原君。「おおっ、ここはカーボンで作ってあるんだ」な〜んて開心しまくっていた。ちなみに隣にいるのは彼女。



ワテがマツキーポキ原です。おめでとう！

